

西宮市議会議員 はまぐち仁士

街の声を大切にする身近な政治を目指して

- | | |
|---------------------------------|------------------------------|
| 1 私が提案した不当な口利き等防止条例が賛成多数で可決・成立! | 2 上ヶ原十番町コンビニ前に予告信号の設置が決定! |
| 3 県道82号線の渋滞は西宮北有料道路無料化で悪化!? | 4 未耐震化だった市立北夙川保育所の移転が決定しました! |
| 5 北部地震の事故を受け不適合のブロック屏を随時撤去します! | |

市政報告 No.12 2018年8月

プロフィール

1972年6月西宮生まれ。既婚3児の父。市立大社幼稚園、市立苦楽園小学校、市立苦楽園中学校、兵庫県立西宮甲山高等学校卒業。16年間の飲食店経営を経て2015年4月に行われた西宮市議会議員選挙にて1983名からのご信託を頂き初当選。2018年教育こども常任委員会副委員長を拝命。



1 市民の市政への信頼は、公正な職務の執行の確保によって得られるものです。そこで私はいわゆる不当な口利きなどを防止する条例を提案し、賛成多数で可決・成立しました！

世間では森友学園問題や加計学園問題など、不当な要求によって特定の者が有利となる働きかけが行われたのではないかという疑惑が生じています。事実関係は明確とされていない中で、この問題によって多くの国民からは行政手続きの不透明さに対する批判が高まっています。また国会で「言った」「言わない」など事実関係を明確に出来ないまま非建設的な議論が行われている状況は、国民の税金を無駄にしていると受け止められかねません。

このような問題の要因の1つとして、必要な記録がなされていないことがあげられますが、西宮市でも同様の問題が生じる可能性は否定できません。本市には不当な要求に対応するいくつかの要綱が存在しますが、

- 記録の対象が限定的
- 記録に関する基準が曖昧
- 全て要綱であり、規定としての効力が弱い

など、実効性や効果に不十分な部分が存在します。

私はこうしたことを踏まえ、要望等のすべてを記録し、不当要求行為に該当するかどうかを検証し、必要な措置をとる規定を明文化した「西宮市職員の公正な職務の執行の確保に関する条例」(いわゆる不当な口利きなどを防止する条例)を提案し、賛成多数で可決・成立しました。

この条例によって、公正な職務の執行が確保されるだけでなく、不当な要求行為への抑止力や、「言った」「言わない」という状況に陥らない記録への信頼性の向上などに大きな期待が持てます。

条例の施行実施は10月1日からとなります。この条例によって市民の市政への信頼が高まるよう、今後も引き続き取り組んで参ります。

詳細はブログをご覧ください
QRコードを読み込むと公式HPの関連ページにアクセスできます



2 カーブ付近に設置されて危険だと言われ続けた上ヶ原十番町コンビニ前の信号機。この問題を解決するため新たに予告信号の設置が決定、安全性の向上が期待できます！

私は過去に配布した市政報告紙10号にて、上ヶ原山田町のコンビニ前にある、横断歩道上に設置された危険な信号機について取り上げました。市に対して安全対策を進めるよう要望した結果、南側から北上する車両に対して信号機の存在を事前に知らせる為の予告信号が設置されました。

この予告信号の設置によって、歩道を渡る通学児童や地域市民の方々の安全性が高まり、長年に渡る問題の解決が図られる期待が持てます。

一方で、予告信号の設置だけで交通事故が減るわけではありません。交通事故を減らすためには、車両を運転する方の安全運転への意識はもちろん、歩行者の方々も注意をしながら安全に道路を横断していただくことが重要です。運転手も歩行者もそれぞれが安全確認をしっかりと行い、事故のない街になるようご理解をお願いします。



コンビニ前に新たに設置された予告信号(平成30年7月10日撮影)

詳細はブログをご覧ください
QRコードを読み込むと公式HPの関連ページにアクセスできます



3 長年に渡って問題視されている県道82号線の渋滞問題が、西宮北有料道路の無料化によって悪化した可能性があります！今後は渋滞緩和に向けた具体的な対策が必要です！

兵庫県道路公社が管理する西宮北有料道路（西宮市の南北を結ぶ県道大沢西宮線の峠部をトンネルでバイパスした道路）が、平成30年4月1日に無料化されました。一方で、「西宮北有料道路から南に伸びる県道82号線の渋滞が悪化しているのではないか」というお声も多く頂いております。

本市では県道82号線の渋滞原因の1つとなっている阪急甲陽園線の踏切対策として、阪急甲陽園線を地下化して踏切を廃止する立体交差事業が過去に検討されていました。しかし地域住民の反対によって、平成21年12月に事業休止が決定しており、改善に向けた対策への実施は止まっています。

- 近隣の小中学校通学路の安全面への懸念
- 県道82号線上を運行する民間バスのダイヤの乱れ
- 運転手のイライラが原因となる事故の可能性

がさらに大きくなる可能性があります。

平成30年3月定例会で、市はトンネルの無料開放に伴う交通量の変化や、大気汚染など環境への影響などについて

「県の予測として、交通量が増加する反面、新名神高速道路の開通による減少も見込まれるため、それらの相殺により周辺道路の交通量や環境などに大きな変化はない。」と答弁していますが、実態はわかっていません。

私はまず、無料化による影響について一度調査すべきだと考えます。その結果を踏まえた上で

- 県道82号線上を交差する阪急甲陽園線の西宮六甲線踏切における、車両横断の円滑化
- 現在神園町で宅地の開発が進められている旧夙川学院中学高等学校跡地の南側を走る一方通行道路（西第814号線）の両側通行化
- 満池谷墓地の西側入り口前にある水道路踏切における、西第814号線両側通行化に伴う渋滞への対策
- 歩行者や通学児童が安全に踏切を横断できる対策

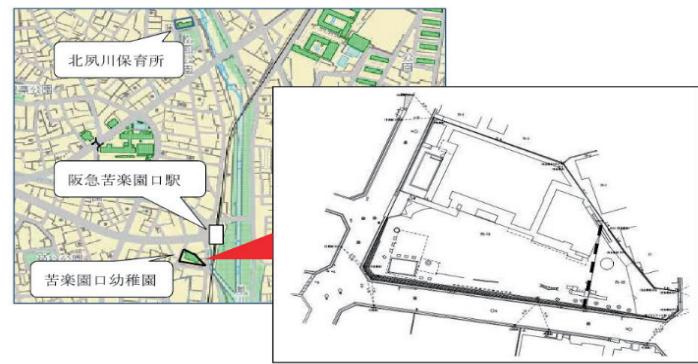
などを実施すべきだと考えます。県道82号線の渋滞問題について、今後も取り組んで参ります。



4 未耐震化が課題だった北夙川保育所は、平成30年度末で閉園となる旧苦楽園口幼稚園の跡地に移転・建て替えが決定！駅付近への移転によって利便性の向上が期待できます！

耐震化が未だ実施されていなかった北夙川保育所（松風町）について、平成30年度末で閉園となる旧苦楽園口幼稚園跡地を30年以上の期間で賃借し、移転・建て替えによって対応することが決定しました。これによって実施が進まなかつた耐震化の課題解決や、駅近くの整備による利便性の向上が期待できます。

一方で、北夙川保育所の跡地活用については現時点で未定です。保育所待機児童は年々悪化していることから、民間保育所の誘致を積極的に実施すべきだと考えます。また未だ対応の目処がたっていない残りの市立保育所についても、耐震化の実施など早急な対応が求められます。施設の安全確保を進めるよう、引き続き働きかけて参ります。



5 大阪北部地震のブロック塀倒壊による児童の死亡事故を踏まえ、本市でも建築基準法に不適合なコンクリートブロック塀は通学路や歩道などに接する箇所を優先的に撤去します！

6月18日に発生した大阪北部を震源とする地震では、建築基準に不適合だったコンクリートブロック塀が倒壊し、登校中の女児が死亡する事故が発生しました。

この事故を踏まえ、小・中学校や市立幼稚園など82施設に加え市立保育所など24施設のブロック塀の緊急点検を行いました。その結果、58施設・179箇所で不適合が見つかりました。今後は不適合と判断されたブロック塀について、（注）通学路や歩道などの動線に接する箇所を優先的に撤去し、フェンス等を取り付ける工事を行います。

また通学路及び学校園周辺の緊急調査の結果も報告がありました。報告によると、22の学校園で異常が確認された

との報告がありました。今後の対応として、引き続き学校園からの情報収集を行い、担当各課と連携して個別に対応を行うとともに、必要に応じて、学校園への情報提供を行なながら、通学路の変更等について指導を行います。

一方で、適合だと判断されたブロック塀について、本当に安全が確保されたのか保護者の皆様が納得できる内容であることが重要です。加えて、今後の公共施設等でコンクリートブロック塀を使用することは自粛すべきだと考えます。学校や通学路の安全が一層確保できるよう、引き続き市に働きかけて参ります。



*不適合の定義=ブロック塀の高さが2.2mを超えるもの・壁の厚さが15cm未満のもの(高さ2m以下の塀にあっては10cm未満)・高さ1.2mを超える場合に控壁の間隔が3.4mを超えるもの、または控壁がないもの・控壁の突出長さが高さの1/5未満のもの